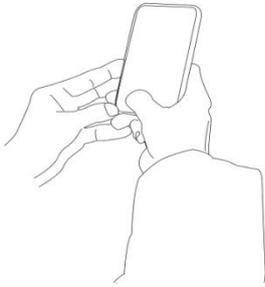


| SNS 利用上の注意



FacebookやTwitter、LINE、InstagramなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）はスマートフォン、タブレット端末の普及などインターネット環境の拡がりにより、とても身近な存在となっています。また、近年では就職活動を進めるうえでも欠かせないツールとなっており、希望する企業や業界についての情報収集・交換だけではなく、採用説明会のエントリーや面接連絡に活用されるなど「学生」と「企業」の橋渡し役を担っているケースも増えています。

一方で、SNS利用上のルールやマナーを守らないと、自分だけでなく他人にも被害がおよぶこととなります。あらかじめ、その特性を理解した上で、SNSを有効に利用しましょう。

SNS利用にあたって 知っておきたい7つのこと

1 SNS上の情報は、必ずしも正しいものばかりではない。

SNS上には、残念ながら、デマや不確かな情報が多く掲載されています。おかしいと思った場合は、その情報に関わる組織や機関に確認することが重要です。友人からの情報といっても、その友人が確かな情報源から入手したとは限りません。ネット上で得た情報を鵜呑みにして、デマ情報の被害者であった自分が、加害者にならないようにしましょう。

2 SNS上に無断で、他の人の写真や情報を掲載しない

ネット上に友人等の写真を掲載する場合は、事前に了解をもらうべきです。SNSでは前後の発言内容や、SNS上での友人のつながりから、写真の人物の名前を推定することは簡単にできてしまいます。このため、直接名前を掲載しなくても、プライバシー権を侵害することにもなります。また、スマートフォンで写真を撮った場合、写真に位置情報が記録されることがあります。その写真をSNSに掲載したために、自宅を特定され事件になるケースが報告されています。

3 SNS上に一度、発信した情報は完全には削除することはできない。

後で削除できると、気軽にSNSに投稿していませんか。一度、インターネット上に掲載してしまった内容を、削除・修正することはほぼ不可能です。あなたの発信した内容がその瞬間削除されたかのように見えているかもしれませんが、世界のどこかのコンピュータに記録されている可能性があります。

4 SNSでは、匿名でも、責任が伴う発言として取り扱われる。

SNS上で他人の人格・性格を否定したり、容姿に対する発言をするなど誹謗中傷することは人権侵害に発展する可能性があります。これは名誉毀損罪や侮辱罪など不法行為に該当しますので、一時の感情にまかせて、悪口などを書き込むことは絶対にしないでください。匿名であっても、個人を特定することのできる情報が通信会社等に記録されています。

5 SNSでの不用意な発言は、家族や友人にまで被害が及ぶことがある。

ネットで個人情報が公開されてしまった場合、面白半分にあなた個人の情報だけでなく、家族や友人の情報まで、ネット上に公開されてしまう場合があります。過去の投稿記録や、友人のつながりの情報から、あなたの情報を特定することが可能です。そして、あなたの情報だけでなく、家族や友人の情報までも、ネット上に公開されてしまうという事例が多く報告されています。

6 実習施設等で知り得る情報を書き込まない。

医療や福祉に携わる者として、個人情報に関する守秘義務の重要性を正しく理解し、一人ひとりが責任ある言動をとる必要があります。実習施設等で知り得た個人情報を漏えいした場合は、大学として極めて厳しい処分を行います。場合によっては、法律によって罰せられることもあります。

7 SNS上での情報発信は就職活動に影響を与えかねない。

最近では、企業や施設等の採用担当者が雇用希望者に関するネット情報を検索し、書き込みなどの内容を確認することが増えていますので、SNS利用にあたっては就職活動への影響を意識する必要があります。特に、内定を受けた企業や施設等の名称を記載するのは控えてください。最悪の場合、内定取消しになることがあります。